

90

午 前

◎ 指示があるまで開かないこと。

(平成 19 年 2 月 22 日 10 時 40 分～12 時 00 分)

注 意 事 項

1. 試験問題の数は 75 問で解答時間は正味 1 時間 20 分である。
2. 解答方法は次のとおりである。
 - (1) 各問題には 1 から 4 までの四つの答えがあるので、そのうち質問に適した答えを一つ選び、次の例にならって答案用紙に記入すること。

(例) 【問題 101】 県庁所在地はどれか。

1. 栃木市
2. 川崎市
3. 神戸市
4. 倉敷市

正解は「3」であるから答案用紙の ③ をマークすればよい。

答案用紙①の場合、

101	①	②	③	④
			↓	
101	①	②	●	④

答案用紙②の場合、

101	101
①	①
②	②
③	→ ●
④	④

- (2) 1 問に二つ以上解答した場合は誤りとする。

〔問題 1〕 ICM の助産師国際倫理綱領の記載内容はどれか。

1. 生命・健康・健全な生活の保障
2. 助産師の専門職上の責任
3. 適正な衣食住および医療の保障
4. 家族システムの確立

〔問題 2〕 助産師が独自の判断で、できないのはどれか。

1. 正常経過の妊婦の健康診査
2. 正常経過の妊婦の保健指導
3. 医師が来るまでの弛緩子宮の双手圧迫
4. 正常経過の褥婦への経口避妊薬の処方

〔問題 3〕 女性の内分泌系変化で正しいのはどれか。

1. 小児期に FSH は高値である。
2. 思春期にはゴナドトロピン放出ホルモンが増加する。
3. 初経発来後 1 年頃から骨密度は低下する。
4. 更年期になると LH は低下傾向を示す。

〔問題 4〕 日本女子社会教育会「家庭教育に関する国際比較調査」(2004、2005 年)における我が国の父親の育児参加で正しいのはどれか。

1. 父親が子どもと一緒に過ごす平均時間は欧米に比べて長い。
2. 小さい弟や妹の世話をした経験をもつ父親は 35 % である。
3. 育児参加の内容で最も多いのは「家で遊ぶ相手」である。
4. 子どもと接する時間が短いと悩んでいる父親は 1 割程度である。

〔問題 5〕 母児の健康への影響で正しいのはどれか。

1. 母体中のダイオキシンは胎児の骨に蓄積される。
2. 原爆で放射線に子宮内被曝した胎児は白血病を発症する。
3. 胎児期のアンドロゲン作用の低下は男性生殖器の発生異常を引き起こす。
4. 妊婦がメチル水銀の蓄積した魚介類を食べるとアザラシ肢症児が生まれる。

〔問題 6〕 性ホルモンで正しいのはどれか。

1. 月経終了後、卵胞ホルモンはゴナドトロピン放出ホルモン分泌を促進する。
2. 卵胞ホルモンのポジティブフィードバックによってLHサージが起こる。
3. プロラクチン値の異常な上昇がゴナドトロピン放出ホルモン分泌を促進する。
4. 閉経女性ではFSHは低下する。

〔問題 7〕 病態と治療薬との組合せで正しいのはどれか。

1. 高プロラクチン血症 ————— ドーパミン作動薬
2. 子宮内膜症 ————— クエン酸クロミフェン
3. 下垂体性無月経 ————— ゴナドトロピン放出ホルモン作動薬
4. 黄体機能不全 ————— エストリオール

〔問題 8〕 ターナー症候群で正しいのはどれか。

1. 子宮は欠損している。
2. 卵巣は欠損している。
3. 染色体の核型は46 XOを示すものが多い。
4. エストロゲン補充療法は思春期以後に開始する。

〔問題 9〕 母児のサイトメガロウイルス感染症で正しいのはどれか。

1. 日本では妊婦の抗体保有率は年々低下している。
2. 抗体陽性の母親の母乳中にウイルスは排出されない。
3. 症候性先天性感染症は妊娠 27 週以後の初感染で起こりやすい。
4. 先天性感染による聴力障害は生後 6 か月以降は出現しない。

〔問題 10〕 子宮内膜症で正しいのはどれか。

1. 病巣はプロゲステロンによって増殖する。
2. 臨床症状の 1 つは骨盤内疼痛である。
3. 超音波断層法で確定診断できる。
4. ホルモン療法は根治性に優れている。

〔問題 11〕 妊婦のクラミジア感染症で正しいのはどれか。

1. 子宮頸管内の抗原陽性率は 2 % である。
2. 治療効果の判定には IgG 抗体価を測定する。
3. 感染すると子宮収縮を誘発する。
4. 産道感染によって新生児に鸞口瘡が発症する。

〔問題 12〕 39 歳の未妊婦。3 年間の不妊を訴えて来院した。月経周期は不順で基礎体温は 1 相性である。月経 3 日目の血液検査で、LH 15.2 mIU/ml、FSH 20.3 mIU/ml、プロラクチン 12.5 ng/ml であった。

不妊の原因で正しいのはどれか。

1. 黄体機能不全
2. 卵巣性排卵障害
3. 下垂体性排卵障害
4. 高プロラクチン血症性排卵障害

〔問題 13〕 胎児の生理で正しいのはどれか。

1. 妊娠 24 週では吸啜反射は認められない。
2. 胎児ヘモグロビンは成人ヘモグロビンよりも酸素との親和性が強い。
3. 静脈管の血中酸素分圧は臍帯動脈の分圧よりも低い。
4. 肺水は胎児呼吸様運動によって羊水を肺胞内に吸い込んで形成される。

〔問題 14〕 胎盤剥離機序で正しいのはどれか。

1. 底脱落膜緻密層から剥離する。
2. 脱落膜血管は断裂し後血腫をつくる。
3. 卵膜は臍帯の牽引によって剥離する。
4. 通過管壁の弛緩とともに娩出される。

〔問題 15〕 妊娠中の母体の免疫特性で正しいのはどれか。

1. NK 細胞活性が亢進する。
2. 正常妊娠では細胞性免疫能が亢進する。
3. 絨毛にはヒト白血球抗原 (HLA)-A が発現している。
4. 正常妊娠では 2 型ヘルパー T 細胞 (Th 2) が優位になる。

〔問題 16〕 胎児の栄養代謝の特徴で正しいのはどれか。

1. 胎児の主たるエネルギー源は蛋白質である。
2. ほとんどの蛋白質は母体側で産生される。
3. 胎児自身でコレステロールを合成できる。
4. 妊娠後半期には胎盤におけるインスリン分解酵素活性が亢進する。

〔問題 17〕 分娩の生理で正しいのはどれか。

1. 産徴は絨毛膜の血管破綻による。
2. 前羊水は脱落膜と絨毛膜との間にある液である。
3. 生理的収縮輪は産科的内子宮口部にみられる。
4. 頸管の開大は主として子宮洞筋の働きによる。

〔問題 18〕 児頭の位置と矢状縫合と恥骨結合後面との組合せで正しいのはどれか。

1. 骨盤入口上 ———— 斜 ———— 3 / 4 触
2. 骨盤入口部 ———— 横 ———— 2 / 3 触
3. 骨盤潤部 ———— 縦 ———— 1 / 3 触
4. 骨盤峽部 ———— 縦 ———— 下縁のみ触

〔問題 19〕 頭位分娩における児の肩甲娩出で正しいのはどれか。

1. 児頭が骨盤底に達する頃、肩甲横径は骨盤縦径に一致する。
2. 児頭が出口部に至ると肩甲横径は骨盤斜径に一致する。
3. 最小径である肩甲横径を骨盤の最大径に合わせて回旋する。
4. 前在肩甲が恥骨結合を滑脱後、それを支点として後在肩甲が娩出する。

〔問題 20〕 分娩第1期の母体の変化で生理的範囲内にあるのはどれか。

1. 脈拍 130/分
2. 尿蛋白(2+)
3. 心拍出量 10 l/分
4. 尿量 100 ml/時

〔問題 21〕 産婦の出産に対する達成感に最も影響するのはどれか。

1. 陣痛対処に対する産婦自身の肯定的評価
2. 出産に伴う産婦の不安の軽減
3. 睡眠や栄養など基本的ニーズの充足
4. 事前の分娩室の見学

〔問題 22〕 乳腺の筋上皮細胞を収縮させるホルモンはどれか。

1. プロラクチン
2. オキシトシン
3. 卵胞刺激ホルモン
4. プロスタグランジン

〔問題 23〕 新生児の哺乳運動で正しいのはどれか。

1. 口唇で乳輪部を圧迫し母乳を搾り出す。
2. 嚥下運動は1回の吸啜運動に対して1回起こる。
3. 直接哺乳は主に顎運動主体の吸啜である。
4. 妊娠30週の早産児では吸啜嚥下の協調運動が確立している。

〔問題 24〕 乳幼児の身体発育で正しいのはどれか。

1. 6～9か月児の1日平均の体重増加量は15～20gである。
2. 発育曲線の10パーセンタイル値は「発育の偏り」である。
3. 低出生体重児は体重が頭囲よりも早く健常児に追いつく。
4. 出生体重2,100gの双胎児の体重は2歳頃に健常単胎児に追いつく。

〔問題 25〕 自然流産で正しいのはどれか。

1. 10代の妊婦に多い。
2. 妊娠と診断された約5%に発生する。
3. 妊娠22週未満で妊娠が自然に終結する。
4. 流産胎児の染色体検査で30%に異常がある。

〔問題 26〕 前置胎盤で合併しやすいのはどれか。

1. 過強陣痛
2. 子宮内反症
3. 子宮破裂
4. 胎位異常

〔問題 27〕 反屈位の後方回旋はどれか。

1. 前方前頭位
2. 後方後頭位
3. 頤部前方顔位
4. 頤部後方顔位

〔問題 28〕 子宮破裂で正しいのはどれか。

1. 好発部位は子宮体部である。
2. 経産婦より初産婦に多く発症する。
3. 不全破裂の場合は無症状に経過する。
4. 子宮に癒痕がある場合の発症率は癒痕が無い場合の3倍である。

〔問題 29〕 産褥 12 日。急な熱感、疲労感および腰部右側に強い痛みが出現し、受診した。体温 39.0℃、乳房緊満(+)、乳汁分泌良好。腹壁から子宮は触れず、子宮体部の圧痛はなく、腰背部の叩打痛がみられた。淡黄色の悪露極少量。

考えられるのはどれか。

1. 産褥熱
2. 乳腺炎
3. 腎盂腎炎
4. 子宮復古不全

〔問題 30〕 産褥期で正しいのはどれか。

1. 浮腫は妊娠高血圧症候群の診断基準に含まれない。
2. 産褥子宮の静脈圧迫は深部静脈血栓症の原因である。
3. 膀胱炎の起炎菌のうち 75% はクラミジアである。
4. 産後うつ病は欧米と比べ日本の方が発症頻度が高い。

〔問題 31〕 生後 2 日、3,020 g の新生児。妊娠 39 週 2 日で前期破水と羊水混濁の他は異常がなく出生した。四肢末端の冷感があり、皮膚の色が悪い。母乳の飲みも悪く、なんとなく活気がない。体温は肛門検温で 36.0℃ である。

この時点の判断で正しいのはどれか。

1. 四肢末端の冷感は生理的である。
2. 欲しがるまで授乳を待つ。
3. 2 時間後に肛門検温をする。
4. 医師に連絡する。

〔問題 32〕 新生児の皮膚の状態で正しいのはどれか。

1. サーモンパッチの多くは生後1～2年で消退傾向を示す。
2. 脂漏性湿疹は石けんやシャンプーの刺激で悪化する。
3. カフェオレ斑はスタージウェバー症候群に併発する。
4. 中毒性紅斑は早産児ほど多く出現する。

〔問題 33〕 出生体重800gの新生児。妊娠26週に帝王切開術で出生した。

この新生児に発症しにくいのはどれか。

1. 無呼吸発作
2. 壊死性腸炎
3. 新生児一過性多呼吸
4. 新生児呼吸窮迫症候群

〔問題 34〕 妊婦との接触を禁止する子どもの疾患はどれか。

1. 突発性発疹
2. 伝染性紅斑
3. 伝染性膿痂疹
4. 伝染性単核球症

〔問題 35〕 経膈超音波検査の項目と評価が可能となるおおよその週数との組合せで正しいのはどれか。

1. 胎 嚢 ————— 妊娠5週
2. 胎児心拍 ————— 妊娠8週
3. 胎児頭殿長 ————— 妊娠12週
4. 児頭大横径 ————— 妊娠16週

〔問題 36〕 妊娠中の未婚女性が妊娠の継続に不安を抱いて産婦人科外来を受診した。

助産師による面接の初期段階の対応で適切なのはどれか。

1. 妊娠・出産について「はい」、「いいえ」で答えられる質問をする。
2. 沈黙が続いたら助産師が話題を決める。
3. 相手の話の中から話題を展開する。
4. 相手の考えを客観的に分析し伝える。

〔問題 37〕 参加者の主体性を重視した母親学級の運営で適切なのはどれか。

1. 1クラスに多くの受講者を受け入れる。
2. 1コースの担当助産師を毎回交代する。
3. プログラムを決めずに参加者の自主運営とする。
4. 分娩への不安について話し合っ解決策を見いだす。

〔問題 38〕 18歳の女子。下腹部痛を訴えて助産所に相談にきた。不特定多数の相手と性交渉を持っている。16日前に5日間持続した月経が終了し、1週間前から帯下が増加した。

対応で最も適切なのはどれか。

1. 妊娠反応を確認する。
2. 産婦人科医の受診を勧める。
3. 保健所での性感染症の血液検査を勧める。
4. 次回からコンドームを必ず使用するよう勧める。

〔問題 39〕 49歳の女性。2人の子どもは結婚し独立している。子宮がん検診終了後「最近寝つきが悪く、イライラする。夫に話をしたくても仕事が忙しく聞いてもらえない。寂しくてどうしていいかわからない」と助産師に訴えた。

対応で最も適切なのはどれか。

1. 更年期症状の程度を把握する。
2. 心療内科の受診を勧める。
3. 夫と共に再度来院するように勧める。
4. ホルモン補充療法を受けるように勧める。

〔問題 40〕 経口避妊薬の副作用で起こりやすいのはどれか。

1. 乳 癌
2. 低血圧症
3. 溶血性貧血
4. 月経困難症

〔問題 41〕 妊娠による変化で正しいのはどれか。

1. 乳房の変化 ————— リビド着色
2. 外陰部の変化 ————— モントゴメリー腺
3. 子宮腔部の変化 ————— ヘガール徴候
4. 子宮の変化 ————— ピスカチェック徴候

〔問題 42〕 妊娠 40 週。超音波検査で 30 分間に 30 秒以上続く呼吸様運動が 1 回、体幹や四肢が伸展し屈曲位に戻る運動が 3 回、胎動に伴い一過性頻脈が 4 回、2 つの垂直断面像で 2.5 cm の羊水ポケットが 2 つみられた。

Manning らの Biophysical Profile Scoring で児の健康状態はどれか。

1. 正常である。
2. 慢性低酸素症を疑う。
3. 慢性低酸素症が強く疑われる。
4. 帝王切開術が必要である。

〔問題 43〕 34 歳の初産婦。妊娠 20 週 2 日、単胎、頭位。学童期に IgA 腎症の既往歴があるが、妊娠経過は正常である。助産所での里帰り分娩を希望している。

対応で適切なのはどれか。

1. 助産所を紹介する。
2. 37 週頃に里帰りするよう勧める。
3. 母体管理ができる医療機関への分娩予約を勧める。
4. 36 週以降は飛行機に乗れないと説明する。

〔問題 44〕 未熟児養育医療で正しいのはどれか。

1. 健康保険法に規定されている。
2. 出生体重 2,500 g 以下の児が対象となる。
3. 親の所得に関係なく給付される。
4. 給付の対象年齢は 1 歳未満である。

〔問題 45〕 10代の妊娠における産科的特徴で正しいのはどれか。

1. 成熟女性に比べて周産期死亡率は低い。
2. 成熟女性に比べて性感染症(STD)が多い。
3. 早産の頻度は未婚者に比べて既婚者が高い。
4. 経膈分娩よりも帝王切開術による分娩が多い。

〔問題 46〕 妊娠貧血で正しいのはどれか。

1. 母体血清鉄は胎盤を通過する。
2. プロゲステロンにより造血能が低下する。
3. 血漿量の増加は妊娠10か月でピークとなる。
4. 妊娠貧血の母親から出生した新生児では貧血の頻度が高い。

〔問題 47〕 35歳の経産婦。妊娠40週5日で陣痛が発来し入院した。入院時所見は陣痛3分間欠、子宮口5cm開大、Station -3、展退度90%であった。2時間後の所見は陣痛2分30秒から3分間欠、発作40秒、子宮口9cm開大、Station -3、展退度100%で、小泉門が12時に触れた。

アセスメントで正しいのはどれか。

1. 正常分娩経過
2. 微弱陣痛
3. 回旋異常
4. 児頭骨盤不均衡

〔問題 48〕 正常な分娩経過で児頭が嵌入している状態にあるのはどれか。

1. Station -3
2. 先進部が入口部の位置
3. 大横径が骨盤入口部を通過した位置
4. 内診による恥骨後面全部の触知

〔問題 49〕 33歳の経産婦。「前は自分で産んだという満足感がなかったので、今回は自分のペースを大切にしたい」と言う。

分娩第1期のケアで適切でないのはどれか。

1. 静かに産婦に付き添う。
2. 陣痛発作時に産婦の呼吸をリードする。
3. 産婦の要求に応じられる距離にいる。
4. 分娩進行に伴う対処行動を観察する。

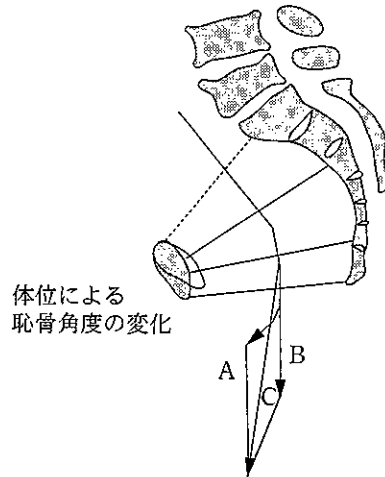
〔問題 50〕 胎盤娩出で正しいのはどれか。

1. 胎盤娩出方式ではダンカン様式が多い。
2. 剥離が下縁から始まったときはシュルツェ様式で娩出される。
3. 剥離に伴い膈外に臍帯が下降することをストラスマン徴候という。
4. 剥離すると子宮底が高くなり右傾することをシュレーダー徴候という。

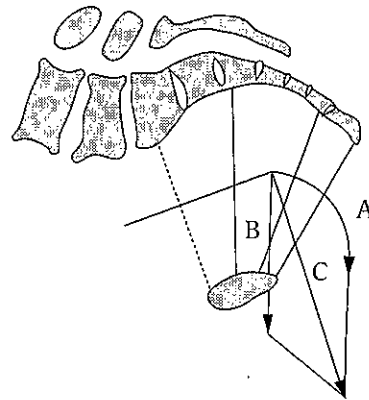
〔問題 51〕 分娩体位と骨盤誘導線、重力、ベクトルとの組合せで正しいのはどれか。

骨盤誘導線：A 重力：B ベクトル：C

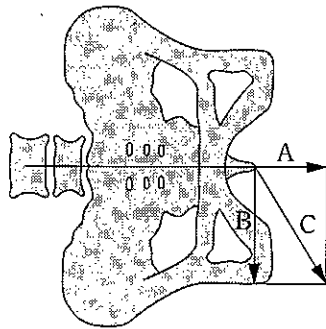
1. スクワット



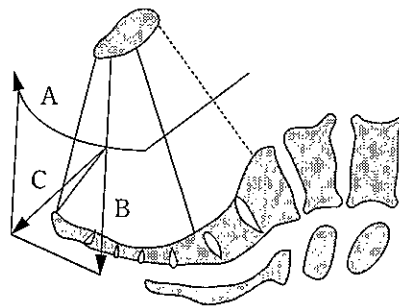
2. 側臥位



3. 仰臥位



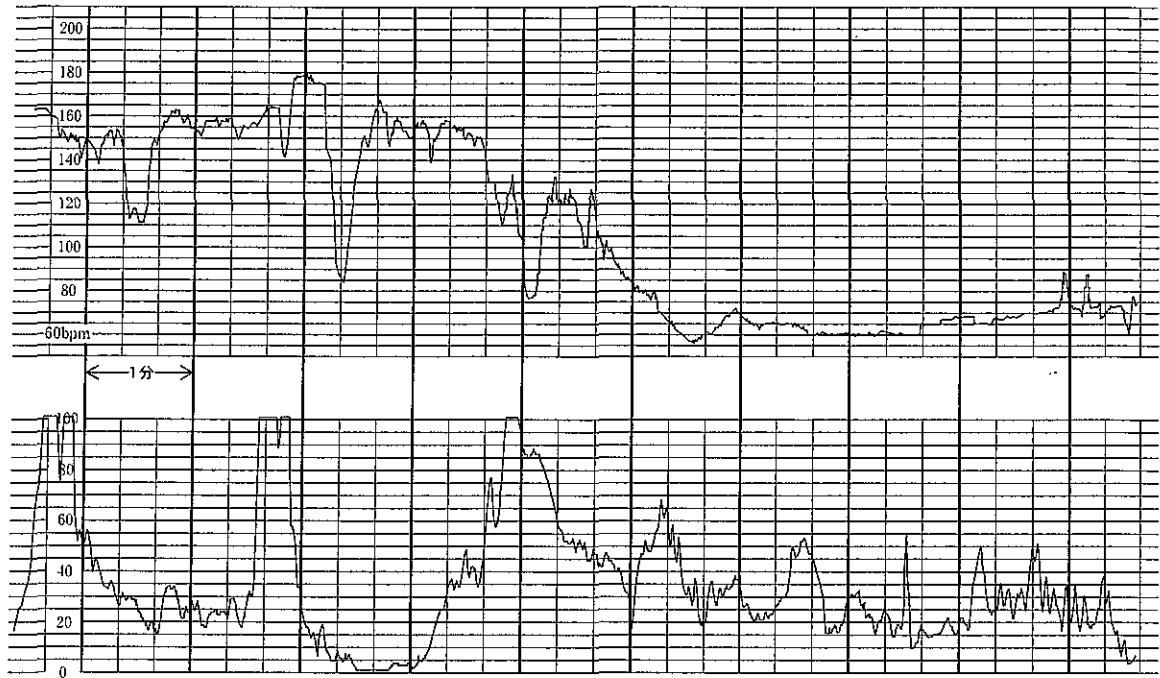
4. 四つばい



〔問題 52〕 仰臥位分娩における経産婦の分娩介助で適切なのはどれか。

1. 児頭が鶏卵大に出現してから会陰保護を開始する。
2. 努責時間は 20 秒とする。
3. 児頭の娩出速度の調節は会陰にあてた手に力を入れる。
4. 第 3 回旋が終了するまで努責を続ける。

〔問題 53〕 下記の胎児心拍陣痛図で考えられるのはどれか。



1. 正常分娩経過
2. 過強陣痛
3. 子宮破裂
4. 常位胎盤早期剥離

〔問題 54〕 初産婦、妊娠 36 週。前期破水で入院した。血液検査を行ったところ、AST(GOT)180 IU/l、ATⅢ 45 %、血小板 7 万/ μ l、推定児体重 2,670 g であった。同時に行った胎児心拍陣痛図は正常であった。

この場合、優先されるのはどれか。

1. NICU への連絡
2. 吸引分娩の準備
3. エストリオール検査
4. 播種性血管内凝固症候群(DIC)治療の準備

〔問題 55〕 肩甲難産で適切なのはどれか。

1. 後在肩甲が恥骨下へ入り込む。
2. 児の予後に顔面神経麻痺が多い。
3. 急速な児頭娩出後に起こりやすい。
4. マックロパーツの体位が有効である。

〔問題 56〕 産科手術で正しいのはどれか。

1. 帝王切開術の麻酔法は吸入麻酔が第1選択である。
2. 骨盤位牽出術ではファイトスメリー法で上肢解出を行う。
3. 子宮口が8 cm 開大していれば鉗子遂娩術を行うことができる。
4. 吸引遂娩術は鉗子遂娩術より牽引力が弱い。

〔問題 57〕 吸啜反射で正しいのはどれか。

1. 3歳でも反射はある。
2. 胎児では妊娠28週頃から出現する。
3. 反射が出ないときには中枢神経障害を疑う。
4. 児の口角を触れるとその方向へ顔を向ける反射である。

〔問題 58〕 産褥5日の初産婦。乳房は緊満し、外側に硬い部分があり、触れると痛がる。乳輪部がやや硬く乳頭の長さは1 cmで先が赤い。

援助で適切なのはどれか。

1. 直接授乳を一時中断する。
2. 乳頭保護キャップを使用する。
3. 乳房外側を温め疼痛を緩和する。
4. 乳頭乳輪部が柔らかくなるようマッサージする。

〔問題 59〕 産褥 3 日。経腔分娩時に会陰裂傷第 2 度で縫合術を行った。

会陰部の状態と対応との組合せで適切なのはどれか。

1. 縫合部の軽度の離開 ————— 臥床安静
2. 縫合部の発赤 ————— 産褥体操で骨盤底の血液循環促進
3. 縫合部付近の圧痛・持続痛 ————— 疼痛の増強傾向の経時的な観察
4. 縫合部の浮腫 ————— 会陰部の温湿布

〔問題 60〕 甲状腺機能亢進症合併妊娠で正しいのはどれか。

1. 妊娠中に発症するケースがほとんどである。
2. 機能亢進状態が続くと早産のおそれがある。
3. 抗甲状腺薬は胎児の甲状腺機能を亢進する。
4. 産後は軽快することが多い。

〔問題 61〕 NYHA I 度の心疾患合併妊産褥婦の援助で正しいのはどれか。

1. 妊娠初期から 1 日摂取総エネルギー量を制限する。
2. 分娩第 2 期にゆっくり時間をかける。
3. 分娩直後は骨盤高位とする。
4. 母乳哺育を禁止する。

〔問題 62〕 出生直後の新生児の診察で、右側のモロー反射が見られない。

疑われるのはどれか。

1. 右の反回神経麻痺
2. 右のエルブ麻痺
3. 左の脳室内出血
4. 左の小脳出血

〔問題 63〕 出生時体重 2,850 g の正常新生児。アプガースコアは 1 分後 9 点、分娩当日から母子同室を開始した。生後 3 日、体重減少率が 11.5 % となったため、血糖値を測定したところ 40 mg/dl である。

今後の観察項目で優先されるのはどれか。

- a. 湿 疹
- b. 黄 疸
- c. 胎便排泄状態
- d. 原始反射

1. a、b 2. a、d 3. b、c 4. c、d

〔問題 64〕 1 か月健康診査での母親への指導で正しいのはどれか。

- 1. 停留精巣は 3 歳以降に手術する。
- 2. 臍ヘルニアは 1 歳過ぎには軽快するものが多い。
- 3. 乳児湿疹はアトピー性皮膚炎になることが多い。
- 4. 頭血腫が残っている場合には穿刺する必要がある。

〔問題 65〕 産褥 1 か月の健康診査の所見で正常なのはどれか。

- 1. 黄色悪露である。
- 2. 子宮口 1 指開大である。
- 3. 子宮は鷲卵大より大きい。
- 4. 恥骨結合上縁に子宮底を触れる。

〔問題 66〕 平成 15 年(2003 年)の母子保健統計で正しいのはどれか。

1. 妊産婦死亡率は 6.0(出産 10 万対)である。
2. 第 1 子出生時の母親の平均年齢は 30.6 歳である。
3. 乳児死亡の原因の第 1 位は周産期の特異的な呼吸障害である。
4. 早期新生児死亡の原因の第 1 位は胎盤・臍帯および卵膜の合併症である。

〔問題 67〕 「健やか親子 21」における 2010 年の目標で正しいのはどれか。

1. 妊娠中の喫煙率を半減する。
2. 10 代の人工妊娠中絶をなくす。
3. 不妊治療のカウンセリングを受けられる割合を倍増する。
4. 育児について相談相手のいる母親の割合を増加傾向にする。

〔問題 68〕 乳幼児突然死症候群(SIDS)の予防策はどれか。

1. 母乳育児を推奨する。
2. うつぶせに寝かせる。
3. 柔らかい布団に寝かせる。
4. 妊婦と同室での家族の喫煙は妊娠中期までとする。

〔問題 69〕 「少子化対策プラスワン」の基本的考え方に該当しないのはどれか。

1. 夜間保育の支援
2. 子どもの社会性の向上
3. 社会保障における次世代支援
4. 男性を含めた働き方の見直し

〔問題 70〕 子育てグループ活動を助産師が支援する意義で適切なのはどれか。

- a. 親同士の仲間づくりによって育児不安を軽減できる。
- b. 親同士の連携が地域の育児力や問題解決能力を高める。
- c. 世間話によってストレスが発散できる。
- d. 独立行政法人福祉医療機構(社会福祉・医療事業団)から融資が受けられる。

1. a、b 2. a、d 3. b、c 4. c、d

〔問題 71〕 妊娠 37 週で双胎児を分娩した。第 1 子は 2,250 g であった。第 2 子は 2,510 g で出生したが、2 時間後に死亡した。

適切なのはどれか。

- 1. 第 1 子の出生届を生後 21 日に提出した。
- 2. 第 1 子の低出生体重児の届出を提出した。
- 3. 第 2 子の死亡届を生後 14 日に提出した。
- 4. 第 2 子の死産届を提出した。

〔問題 72〕 法律と母性保護の内容との組合せで正しいのはどれか。

- 1. 労働基準法 ————— 母性健康管理指導事項カードによる措置
- 2. 育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律 ————— 育児時間の取得
- 3. 雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律 ————— 産後 1 年以内の健康診査の時間の確保
- 4. 母子保健法 ————— 変形労働時間適応の制限

〔問題 73〕 病院に助産師外来を開設することになった。

助産師が検討すべき内容はどれか。

- a. 助産師の研修
- b. 助産師の年齢
- c. 異常分娩率
- d. 対象となる妊婦の基準

1. a、b 2. a、d 3. b、c 4. c、d

〔問題 74〕 助産所の管理で正しいのはどれか。

- 1. 開設届を市町村長に提出する。
- 2. 「助産院」と名称をつけることはできない。
- 3. 構造設備の基準は保健師助産師看護師法に規定されている。
- 4. 出張のみを業務とする場合は助産師の自宅住所が助産所とみなされる。

〔問題 75〕 30歳の経産婦。妊娠20週。今回は自宅出産をしたいと希望し、助産所に相談にきた。家族は心配している。

説明で適切なのはどれか。

- 1. 「自宅出産にもリスクがあります」
- 2. 「私がお家族の方を説得しましょう」
- 3. 「私が自宅出産の安全を保証します」
- 4. 「病院で出産することに決めましょう」